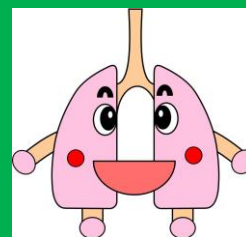


多摩府中保健所感染症週報

平成30年 第36週 (9月3日~9月9日)



肺えもん

今週の傾向

★RSウイルス感染症の報告数は減少していますが、都内では高い水準が続いています。

★管内では、報告数が明らかに増加している定点把握対象疾患はありません。

★手洗い・咳エチケットを行い、集団生活では飛沫感染・接触感染に注意しましょう。

●定点把握対象疾患・定点医療機関当たりの報告数

定点	疾患名	多摩府中保健所管内		東京都内	
		第35週	第36週	第35週	第36週
インフルエンザ	インフルエンザ	-	-	0.02	0.08
小児科	RSウイルス感染症	2.28	1.38	2.02	2.08
	咽頭結膜熱	0.44	-	0.27	0.24
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.22	1.43	1.29	1.54
	感染性胃腸炎	4.00	3.52	3.61	4.27
	水痘	0.61	0.14	0.18	0.22
	手足口病	0.83	0.67	0.91	1.14
	伝染性紅斑	0.72	1.14	1.03	1.06
	突発性発しん	0.83	0.71	0.53	0.56
	ヘルパンギーナ	3.00	1.86	1.50	1.19
	流行性耳下腺炎	0.17	-	0.12	0.11
	不明発しん症	0.17	0.67	0.17	0.20
	川崎病	-	-	0.03	0.02
眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	-
	流行性角結膜炎	2.00	2.33	0.95	0.81
基幹	細菌性髄膜炎	0.33	-	0.04	-
	無菌性髄膜炎	-	-	-	-
	マイコプラズマ肺炎	-	-	0.24	0.24
	クラミジア肺炎 (オウム病除く)	-	-	0.04	-
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	-	-	-	-
	インフルエンザ (入院)	-	-	-	-

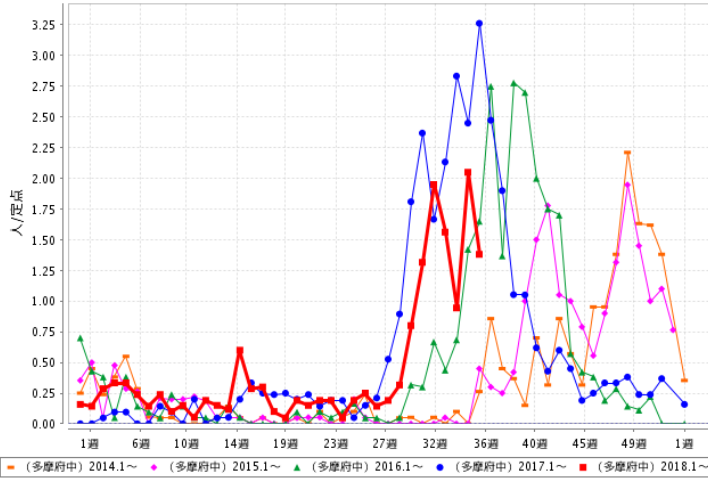
※平成30年1月第1週より百日咳が定点把握対象疾患から全数把握疾患に変更されました。

今週の状況 …過去 5 年間の比較

赤線は 2018 年第 36 週までの定点当たりの報告数

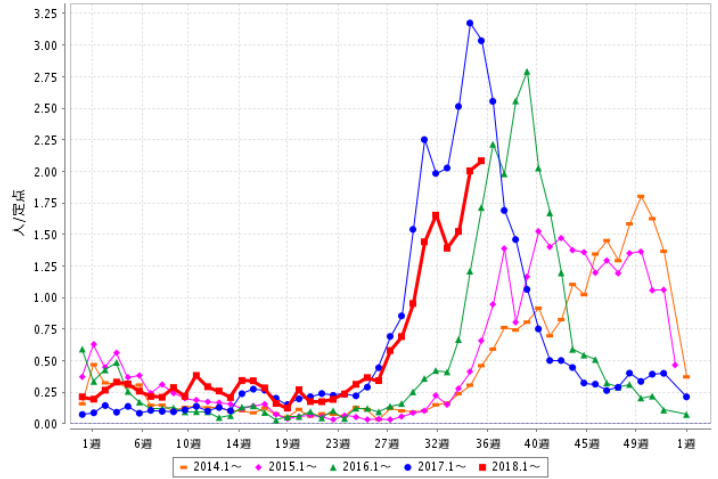
●RS ウイルス感染症・・・管内報告数は減少していますが、都内では高めの水準で推移しています。

多摩府中保健所管内



©2002-2018 Tokyo Metropolitan Institute of Public Health

都内



©2002-2018 Tokyo Metropolitan Institute of Public Health

風しんが増加しています

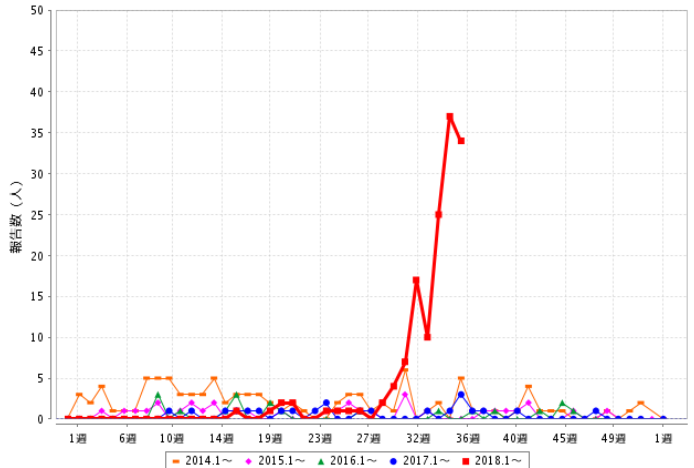
今年 7 月以降、都内で風しんの報告数が増加しています。風しんは飛沫感染するウイルス性感染症です。マスク着用や咳エチケットなど、適切な飛沫感染予防策をとりましょう。

予防には予防接種が有効です。定期予防接種の時期に当たらない人で、風しん罹患歴がなく、ワクチン接種歴がないまたは抗体検査で免疫があることを確認できない場合は、ワクチンの接種を検討してください。

風しんについての情報は、下記の「東京都感染症情報センターHP」を参考にしてください。

<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/diseases/rubella/rubella/>

風しんの報告受理別報告数推移(過去 5 年間)



©2002-2018 Tokyo Metropolitan Institute of Public Health

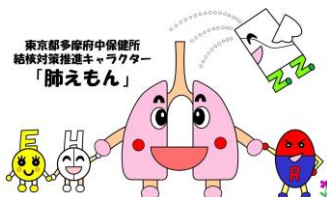
※東京都感染症情報センター「WEB 感染症発生動向調査」を基に作成しています。

※定点把握対象疾患とは? : 発生動向の把握が必要なもののうち、患者数が多数で、全数を把握する必要のないものです。感染症法第 14 条により、都道府県は「指定届出機関 (定点医療機関)」を指定し、指定届出機関は、対象疾患について患者の発生状況を届けることになっています。

参考) 指定届出機関 (定点医療機関)

インフルエンザ定点 : 管内 33 機関 (都内 419) 小児科定点 : 管内 21 医療機関 (都内 262)

眼科定点 : 管内 3 機関 (都内 39) 基幹定点 : 管内 3 医療機関 (都内 25)



多摩府中保健所 保健対策課 感染症対策担当
TEL : 042 (362) 2334 (代表)

検索 多摩府中 感染症週報